

## 第2回草加市みんなでまちづくり会議議事録

- 1 開催日時  
平成17年7月20日(水)午後7時から9時まで
- 2 開催場所  
草加市役所 本庁舎 第1・2委員会室
- 3 出席者の氏名
  - (1) 登録員 13名
  - (2) 進行 総合政策部長
  - (3) 事務局 総合政策副部長、みんなでまちづくり課長、  
みんなでまちづくり課長補佐
  - (4) 関係者 みどり公園課長、みどり公園課長補佐
- 4 会議の議題  
「瀬崎蒲原公園再生プラン」の提案に関する市の反映結果について
- 5 公開・非公開の別  
公開
- 6 傍聴者  
9人
- 7 会議の概要
  - (1) 開会  
進行
    - ・ 会議録署名員の指定については、登録番号4の井上元行登録員と、登録番号5の谷古宇孝登録員にお願いしたい。
  - (2) 前回の概略  
事務局：みんなでまちづくり課長
    - ・ 説明
  - (3) 議題「瀬崎蒲原公園再生プラン」の提案に関する市の反映結果について  
事務局：みんなでまちづくり課長
    - ・ 説明

## 「瀬崎蒲原公園再生プラン」の提案に関する市の反映結果

第1回みんなでまちづくり会議において瀬崎まちづくり市民会議よりご提案ありました「瀬崎蒲原公園再生プラン」について回答いたします。

現在、草加市では身近な公園づくり事業を重点施策として、新規公園の建設を積極的に進めております。しかし、その一方で、年々増加する公園を維持したり、開設されて以来年月が経ち、周辺の環境や公園に対するニーズが変化するなかで、既存の公園を今以上に利用していただくためには、地域の皆さんと地域の事情や地域の特性にあった公園のあり方について協議をしていくことが重要になってくるものと考えております。

このたび、瀬崎まちづくり市民会議より、町内にある同公園について十分な利用がされていないとして、地元の人たちが親しめる「軽スポーツが身近に楽しめる公園」としての再生プランをご提案いただきました。

瀬崎まちづくり市民会議は、平成12年度から市の「パートナーシップまちづくり事業地区」として、住民主体により市と協働でまちづくりに取り組むと共に、地域の特色を活かした地域活動にも主体的に取り組んできました。この活動を通じて地域で活動するテーマ型団体が新たに生まれるなど、地域のコミュニティはますます発展しております。

今回の地域の皆さんから提案のあった再生プランは、地域の公園の活性化については、地域にあった利用の方法が必要との提案がなされたものと考えます。

同会議の再生プラン作りには、地域住民の幅広い参加による委員会を組織され、地域住民に委員会案を公開し、意見を伺ったうえで、決定されたと伺っております。

また、再生プランの内容も、幅広い年齢層の人が利用できる軽スポーツができる公園、そして幼児などの親子連れが利用できる広場も確保するなどとなり、より多くの住民の皆様にご利用される公園としてこれまで以上に利用価値が高まることが期待されるものとなっております。

現在、草加市では、市民が発想し役所が実行することを市政運営の大きな柱として、市民と行政の協働の取り組みを推進しているところです。地域で発生した課題に、地域の皆様自らが自主的、自立的にその解決に参加していくことは、これからのまちづくりに大きな可能性をもたらすものとして、積極的に支援を行ってまいりました。

今回の地域の皆様の発意による再生に向けた取り組みは、地域での公園のあり方を見直したり、公園の管理・運営等、これから直面していく課題に対して先進的な取り組みとなり、この公園を舞台としてパートナーシップによるまちづくりが実践されていくことにな

るものと考えております。とりわけ、今後の公園の管理・運営については、公園の活性化や今まで以上に利用していただくためには、地域の実情にあった管理・運営をしていくことが重要であり、地域の状況を知っている地域の皆様に運営していただくことが必要と考えます。

## 進 行

- ・ 前回の皆様方の意見を伺いながら、市の担当として今の説明を行った。
- ・ 反映結果というよりも、方向性についての回答としてご理解いただきたい。
- ・ せっかくの機会なので、多くの意見をいただき、その方向性について修正可能なものについては受け止めるので、忌憚のない意見をいただきたい。

## 登録員

- ・ 具体的には今後の取り組み方についてどのようにしていったらいいのか？
- ・ 当然費用のかかることなので、行政ではどんな形で見えていくのか？
- ・ 第1回のまちづくり会議の中で、いろいろな意見が出た。どのように活かし、地域で携わり、実現させていくのか？いつごろまでにどんな形で考えていったらいいのか？

## 進 行

- ・ 本来、みんなでまちづくり会議の議題の中では、物事を決めるものではないが、意見交換として、答えられる範囲で回答する。

## 事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 整備後の管理のあり方、公園使用のルールづくり、地域と市との協働の中での役割などについて、これから地域の皆様と協議させていただきたい。
- ・ 時期としては、本会議終了後の早い時期の段階で、その場を設けていきたい。

## 登録員

- ・ 具体的に公園の整備ができるのはいつなのか？

## 事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 地域の役割、行政の役割等、話し合いがまとまった段階で予算化していきたい。

## 登録員

- ・ この回答書だと、今までと変わったところがあるのか？
- ・ 反映されたかどうか全然わからない。
- ・ 登録員に諮らなければならないことがあるから、反映結果の説明を行う必要があり、理解を求める必要があるから会議を行うのではないか？
- ・ 遊具の問題などでしていた。こういう提案にも重みがあるはず。具体的に説明していただかないとわからない。
- ・ 地域だけでやっていたら、残りの登録員は、また結果しかわからない。
- ・ 少なくともこういう話せる場が必要で、プロセスを大事にしないと、折角の新しい機構が機能しないのではないかと危惧がある。

## 進 行

- ・ 前回の会議の中で、登録員の方々からのご意見をいただき、その反映の結果としては、説明が不足しているというご意見をいただいた。
- ・ まだ行政としても、経験のない事なので、形式的に進めていくのはどうかと思

う。

- ・ ご意見をいただきながら、この会議を本当に回るような形のものにしたい。
- ・ 行政の側もパートナーとなりえるよう、考えるためにもご意見をいただきたい。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 前回の会議でいただいた意見の取り扱いについては、公園整備の実施に向けて、実際の設計の中で意見交換をしながら、いろいろと検討していきたい、とお答えしている。
- ・ 具体的に話のでた遊具については、法律的に条件になっていないが、地域にお住まいの小さな子どもから、高齢者まで多くの方に利用していただくために遊具を設置している状況にある。
- ・ 今回についても親子連れ、高齢者など多くの年齢層に対応できるような、公園として遊具を設置していきたいという考えでいる。

登録員

- ・ 公園の性質を考えていけば、ボール遊びのできる公園というのには意義がある。
- ・ 小さい子どもも遊べるようにしたいというのは理解できる。
- ・ そういうことを登録員の意見を聞くたびに、逐一説明していただきたい。
- ・ 今回は、登録員の意見に対する回答が盛り込まれていなく、話を聞きっぱなしなのは非常に失礼だと私は思う。

進 行

- ・ 登録員の制度についてご意見をいただき、今後の展開の中で、細かい点も含めて詰めていかなければならない。
- ・ 本来の意味での制度運用とは違う形になるかと思われるが、制度についての話し合いを持ちたい。

登録員

- ・ また役所と向かい合ってしまう。これでは何の発展もない。

登録員

- ・ まちづくり条例について当初から関わっていたものとして、発言したい。
- ・ この会議についての内容について、きちんと運用されるようにしていかなければならない。市民と共に考えるものかと期待をしてきた。
- ・ 条例化されるときに何ら市民側には説明もなく、声をかけず、情報がこないまま、ある日突然、登録員を募集しますという書類が提示された。この規則に基づいて開始され始めた。
- ・ 規則づくりの部分の話し合いが欠落しているがために、今のような問題が必然的に起こっている。
- ・ 結果報告についても、前回行った会議内容について、次の時に必ずしも回答を出さねばいけないものではないと思う。

- ・ いろいろ出た課題についてどのように進めているか、徐々に行っている結果を説明すればよいと思う。
- ・ 細かいことは地域と検討という、登録員に何をご理解賜ろうとしているのか、全く見えない。
- ・ 細かい内容は、当事者と直接なされてしまうのかと感想を持った。

#### 進 行

- ・ 今までの進行についてのご指摘、ご提案として受け止めたい。
- ・ 条例の趣旨からするとこの会議では、決定は行わない。様々に出た意見を伺い、行政側はその意見を取り入れた内容で回答することになっている。
- ・ ご提案いただいた件について、今後、この会議が発展していくように、様々な意見をいただきながら、行政の方でも考えていく必要がある。
- ・ 次回以降、機会をとらえながら、ご返事していかなければならないと思う。
- ・ 瀬崎市民会議の皆様からは貴重なご提案をいただいているので、そのことに対してどう行政が回答できるのか？もう一度仕切りを戻して先に進めていきたいと思う。

#### 事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 実施段階の中でいろいろな問題は整理しながら実施していくことになる。予算時期の話も含めて、実施段階で内容について報告する機会を設けたいと考えている。
- ・ 細かい部分については未定の部分もある。

#### 登録員

- ・ みんなでまちづくり会議での報告となっているが、今日がそれをする日ではないのか？
- ・ 一般の登録員のことをどう考えているのか。
- ・ この制度では地域ではない人はどうなるのか？その辺をはっきりしてほしい。
- ・ 実際には目的を持った公園を作ろうとしているなかで、登録員から遊具は邪魔ではないかという意見が出てきている。
- ・ 実際に周辺を調べてみたら小さな子どもがたくさんいる。遊具を必要としている。
- ・ 市としては無いより、あった方がいいと思う。
- ・ そのような状況で地元と意見が違ってしまうので、両者の話し合いに任せてほしいという内容であれば、理解できる。
- ・ その辺がはっきりしないと何でもありになってしまう。一般の登録員は何のために集まっているのかわからない。

#### 登録員

- ・ 少なくとも瀬崎はこれでいいだろうという印象は持ってほしくない。

- ・ 今まで市役所に何かを提案したときにいただく、よろしく善処しますという回答と何ら変わらないものとの印象を受けた。
- ・ よく解釈すると条件付きの OK か？条件付きの管理のあり方とか条件を満たせば、予算化に向けますと言うことなのか？
- ・ みんなでまちづくり会議の機能が整理されていないから、はっきり回答できないのかと思った。
- ・ 瀬崎にとっては、この回答はどういう意味の回答なのか？回答になっていないなというのが印象。

#### 進 行

- ・ ひとつの意見として承る。
- ・ これに対して一問一答形式で進めると趣旨が変わってしまうので、ほかの意見をお願いしたい。

#### 登録員

- ・ 瀬崎の大変長い時間と労力と英知を集めた提案だったはず。
- ・ それを市の方で前向きに取り上げるならば、それはそれで、小委員会みたいなものを作って、いままでの大筋を変えないでやっていけばいいのでは。

#### 登録員

- ・ 行政が前向きに、瀬崎の提案を良しとした場合、お互いに行政が全部やってしまうと、瀬崎の提案の本旨がどこかに消えてしまうかもしれない。
- ・ 小委員会を別に作って調整してやっていけばいいと思う。
- ・ その間に、なにかしらの進展があれば、その都度、登録員に経過報告してもらえればいいのではないか。

#### 進 行

- ・ 行政側の考え方としては、議会の質疑のように凝り固まってもいけない。もう少し柔らかく考えていきたい。
- ・ ご提案があったように、この中でメンバーを固定して常に決議をしていくことができる条例とはなっていない。
- ・ 新しい形の、まちづくり会議のテーマの一つとして提案されたので、それを今後の展開に活かせるよう考えていきたい。

#### 事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 条件付きという表現がなじむかどうかは別だが、管理・運営をこれから地域の方々に協働で担ってもらうことが、この公園の活性化とか利用の向上につながるものと思っている。
- ・ これからの管理方法の一つの実践に向けて、実施に向けて進めていきたい。
- ・ 初めての事例と考えているので管理の問題とか運営の課題など、行政と地域の方々と話を進めていく必要がある

- ・ 話を進める中で実践に向けて取り組んでいきたい。

#### 登録員

- ・ スポーツのできる公園に作り替えたいという提案なのだが、遊具広場の近くに防護柵をたてている。
- ・ 小さい子どもイコール遊具が必要ということなのか。
- ・ 基本的にこのプランを採用するという回答だと思うのだが、その採用するに際して、瀬崎市民会議の方々が書かれた原案どおりやっ払いこうということなのか、いろいろまちづくり登録員から出された意見を加味して多少の修正を加えながら実現していこうという回答なのか、それが見えない。
- ・ 市民会議の方々が提案したことに関して、私たちの言った意見はどういう重みがあるのか。
- ・ 前回の時に蒲原公園は瀬崎にあるが、瀬崎だけのものではない。草加市民のものであるとも思うが、駐車場があってしかるべきではないかという意見もあった。
- ・ 総合的にこれから、それらの意見を検討しながら実現していこうという回答なのか？
- ・ この会議に出て、こう考えて言ったことがどうなるのか？が見えないから疑問に思う。

#### 進行

- ・ 前回の意見も含め、皆さんと改めて進めていき、その流れを考えていく。
- ・ 瀬崎市民会議からの提案について、皆さんの中で、方向性は良とされている印象を受ける。
- ・ 回答の中に、本来であれば一つ一つ全部、答えていくべき問題なのだと思うが、そうした方向性すら見えないのではないかと言うお話だと思う。
- ・ 受け取り方について、この件に特化する訳ではないが、でてきた意見をどのように活かしていくか、今後の課題と捉えている。
- ・ 決定するわけではないが、今、どう考えているのか説明できる範囲での回答。

#### 事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ みんなでまちづくり会議は、議題の提案の内容と登録員の意見に基づいて、市がどのように反映できるかということの、結果を出すことになっている。
- ・ 基本的には瀬崎市民会議の提案に沿った形で、第1回の会議での登録員の意見も検討しながら進めていきたいと考える。
- ・ 最終的には瀬崎市民会議からいただいた提案をもとに、いろいろな意見を調整する中で、その結果について、ご報告しようと考えている。

#### 登録員

- ・ 会議の進め方として、登録員は結果しか教えてもらえないのか？

- ・ 当事者ではない登録員は結果しか聞かされない。どういう考えでこのようになったのかという市の方も登録員も共有した方がいい。そうでないと、言葉だけのパートナーシップになってしまう。
- ・ 本当に同じような考え方を共有していく気があるのか？情報が一緒でないと、なかなかまとまらない。
- ・ 今回の開催は私も含めて何でなのかよくわかっていない。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ みんなでまちづくり会議は、取り上げた内容と登録員のご意見をいただき、それを踏まえて市政にどう反映させていくかという場である。
- ・ その結果がある程度見えた段階でご報告させていただこうと考えている。

登録員

- ・ 今日がそれをする日ではないのか？
- ・ 今日はっきりできなければ、先程あったとおり、次の機会でもよかったのではないか？
- ・ 今日の会議の目的は何なのか？
- ・ 私たちが呼ばれたのは、反映結果を説明しますということできている。

事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 内容については細かい提案をいただいているが、今の時点で一つ一つお答えするのは、なかなか難しい。
- ・ いただいた意見については、実施設計の中で検討させていただきます。

進 行

- ・ 皆様から貴重な建設的なご意見をいただいている。それに対して行政側がどう受け止めるのかというものが本来、回答すべきものかと思う。
- ・ 今回の回答が、満足行く表現がされていないのは事実だと思う。
- ・ 公園の整備について提案いただいたことが、行政として受け入れられる範囲のものであるかという事について方向性を出すべきであって、また、それについて皆さんから否定的な意見が出た場合に、なぜそういう意見が出たのか、分析する必要がある。
- ・ 前回の会議の中では、もっとよりよい公園の設えができるのではないかとのご提案をいただいたかと思う。
- ・ それについて一方的に受け入れることができないものであるか、含めて今回はそれについての回答という形とは思っていない。
- ・ 今後何らかの形でご回答させていただきたいと思っている。
- ・ この回答で一つ一つお答えできているとは思っていないので、ご理解いただきたい。

登録員

- ・ 提案者ですが、どういう回答がもらえるのか期待をして参りました。
- ・ 何の進展もない。大変がっかりしている。
- ・ 地域の人が利用しない公園などで、思い切って軽スポーツの公園にとお願いを申し上げた経緯がある。
- ・ 記念体育館が、剣道や柔道などの大会開催時には駐車スペースが不足する。
- ・ 臨時駐車場兼軽スポーツ公園として再生された方がよいという意見も出た。
- ・ 植木もほとんど植えないで、下が真っさらでいい。
- ・ この管理を自分たちにやらせてくれればいい。

————— 10分 休憩 —————

#### 進 行

- ・ 行政の立場としても第2回ということで、今後、どうしていくのか、今日は様々なご意見をいただいた。勉強させていただきたい。
- ・ いい機会になったと思う。今後の展開に活かさせていきたいと思う。
- ・ 会議の周知方法、運営方法あるいはあり方について意見をいただいた。

#### 登録員

- ・ 具体的な公園整備の内容が議論されているが、草加市で実際にこういう会議を開くことは無かったし、これによってどのように進めていくのか判らない。
- ・ 市民にとって市の管理下の中でやってきた。
- ・ 協働をめざして逆に自分たちでやってく中で、行政としての経営計画や財政課、議会との関係の中で方向性を示して欲しい。
- ・ 具体的な話の中で、ざっくばらんにお話していただければわかりやすい。
- ・ 実際に今までにない会議なので、どうやったら協働で進めていけるのか...

#### 登録員

- ・ 実際こういった形で、進めていこうと案をある程度、作っていかなければならないと思うし、僕らも加わりたい。
- ・ できあがった段階でまた、会員の皆様に報告をという、運営方法としては地区外の人が蚊帳の外になってしまっているのは何となくうまくないだろうと思う。
- ・ 出席いただいた中で全員に声かけをして、もう一回、最終的にはこうしたいと確認をとりながら進めていきたいと思う。
- ・ 最初にみどり公園課に聞いたのは遊具を取れないという感じだった。
- ・ 遊具をつけて、そういったものが当たらないように配慮して、結果的に提案した形になったのだが、しこりは残っている。

#### 登録員

- ・ 児童公園だということで、遊具はないといけないということだった。

- ・ 第一回目の時に、危険だから全部とってしまってスポーツ専用にしたらどうかという意見もあった。
- ・ そうできれば最高だなと思ったが実際にはできないと言うことで、最終的には防護策を作って万が一の際に備えることとなった。
- ・ その辺は意見が変わってきたということか？

#### みどり公園課

- ・ 遊具の議論が出ているが、現状を説明したい。
- ・ 検討の中で我々も、遊具についての議論はあった。
- ・ 提案に対して、若いお母さん方から遊具を残して欲しいという意見もあるので、若いお母さん方の意見も反映させられるようお願いをした経緯がある。
- ・ 特に法的根拠はないが、他からの要望があったためである。

#### 登録員

- ・ 遊具は無くすことのできないと、実行委員の話し合いの中で出たもので、このような案になった。
- ・ 今のような形がいいと思う。

#### 事務局：みんなでまちづくり課長

- ・ 登録員さんも入っての検討という話だが、本来、登録員さんからも出たように、遊具の話も含めて回答すべきで、そのあたり説明不足であったと思う。
- ・ 今後の問題だが、現在の30名の登録員に意見を伺いながら、地域も含めてあり方を検討することはできるかと思うが、将来的に相当な数の登録員が集まったときには難しい状況になることもあると思う。
- ・ そういった状況も含めていい方法を検討しながら皆さんと進めていきたい。
- ・ いろいろなご要望があったときにすべて受けていくことはできないと思うが、ある程度の基準を設けて整理していく必要があると考える。
- ・ 今回の場合は、公園の活性化のためには地域の方と協力しながら、地域の実情にあわせて、地域にあった管理という形で対応を諮ることが活性化につながると思う。
- ・ 新しい公園管理の方法ということも含めて、今回は取り扱っている。
- ・ 予算化については管理方法や実施方法の話し合いを進め、早い段階で予算化につなげていきたいと考えている。

#### 登録員

- ・ みんなでまちづくり自治基本条例の第26条には、「みんなでまちづくり会議にて提案され、話し合われた事項について、市政に反映するよう努めます。」とある。
- ・ 提案されたのは、瀬崎市民会議の案件だが、そのことだけに対してではなく、この会議で話し合われた事項についても反映する、と条例に定められている。

- ・ 遊具一つとっても賛否が分かれている。この両者の意見を反映することは、到底できるものではない。
- ・ 会議で出された意見を、この会議としてはどのように汲み上げていくのか、話し合いが行われて、この会議の中で方向性を出した上で、その内容についての反映結果を、みんなでまちづくり会議で報告しますという形ではないかと思う。
- ・ 第3項で「話し合われた内容」とはどこまでのものを指しているのかという質問をしたが、回答いただいた内容は「提案について...」。これも不明確ではあるが、前回出た意見の内容すべてであるとする、さきほどのような疑問も出てくる。
- ・ その内容について全部を反映することはできないだろうから、最初に申し上げたように、何回か意見交換を重ねて、一つの合意形成みたいにした上で、市に反映してもらうという提案になって、それについて市の方から回答が返ってくる、という解釈をしないと、この条例はおかしくなると思う。

#### 進 行

- ・ この条例のもとになった価値観も含めてご意見をいただいた。
- ・ この条例が出来上がるまでの間、関係者の方々には多くの意見をいただき、かなりの時間をかけながら、議会の審査を受け、その中で原案を若干修正した中で、一年近くかかり、はじめの組立と形のずれがある。
- ・ その部分が補完されていないということ。
- ・ 提案いただいたなかで今後の展開を考えてみたい。
- ・ 今日はこの件について結論を出せる状況ではない。ご了承ください。

#### 登録員

- ・ まちづくり会議に関して、定例会が年4回では、結論が出ずに終わる印象を受ける。
- ・ 3ヶ月で出来ないのであれば、規則を変える必要がある。
- ・ 本来なら、今日はちゃんと答えないといけないのに、出てきた答えはこのようなものだった。
- ・ 条例の精神からしても、実行できないのであれば変えた方がいい。基本に戻って、両方に消化不良があるものだから、もう一度、見直しをして欲しい。

#### 進 行

- ・ 回答したいという思いもあったし、慣例的に出てきた内容については、次回での回答を求めたと、事務局で捉えてしまった。

#### 登録員

- ・ 第26条の第4項に結果を公表し、会議で説明します。とちゃんと書いてある。
- ・ 3ヶ月で取捨選択し、次の回で回答するのが大変であるなら、何かいい方法がないか？

- ・ 今日の回答は何しにきたのかわからない。全然説明になっていない。
- ・ 運用するのに無理があると思うので、いい方法がないか整理をして欲しい。こちらも育たないといけないのだが、臨時もできることになっている。

#### 進 行

- ・ 本来であると決定機関であるという認識ではない。

#### 登録員

- ・ 何のために会議しているのかわからない。
- ・ ディスカッションして終わっていて、会議の意味がなされていない。
- ・ 賛成・反対を聞かれるのかと期待してきた。
- ・ この議題について賛否を聞いて進めて欲しい。

#### 進 行

- ・ 基本に立ち返り整理したい。

#### 登録員

- ・ 市民の考えと市の考えとにズレがあると思う。
- ・ パートナーなので参画できないものか？
- ・ はじめての事なので、改善できる事はしたほうがいい。
- ・ 運営や会議の構成をもっと話し合った方がいい。

#### 進 行

- ・ 活動の初期の段階であるので、条例の調査や研究として話し合いが必要との意見が多々あった。
- ・ 行政としても、今後どのようにしたらいいのか、次回以降に反映できるように努力していく。

以上